



道路愛護の心で、通りを美しく
～8月10日「道の日」市街地の道路パトロール

8月は、全国一斉に「道路ふれあい月間」と定められています。その中で、8月10日は「道の日」に定められており、この日は市、加世田土木事務所、警察署、消防署、商工会議所などの職員が、市街地の幹線国道市道の道路パトロールを実施し、道路清掃・不法占用・看板などの指導・取り締まりを行いました。

市民の皆さんも、道路上（側溝・歩道を含む）に植栽のプランター・プロパンガスなどを置かないこと、また、垣根などが道路に出ないようにせん定するなど、気を付けて道路愛護に努めて頂くようお願いいたします。

お魚センターで魚の生態を知ろう
～鹿児島水産高校の学習の成果をお魚センターで

枕崎お魚センターの大型水槽の飼育魚は、鹿児島水産高校海洋科栽培工学コースの生徒の皆さんが管理しています。また、2階のレストランでは、各テーブルで生徒たちが作成した『魚に関するクイズパネル』で楽しめるほか、小型の水槽も展示され、生徒の皆さんが卵から育てた魚の生態を観賞できます。

このように、お魚センターのいたるところで、鹿児島水産高校の学習の成果がご覧になれますので、ぜひ一度、足をあ運びください。



昆虫・植物採集で夏休みの楽しい一時
～枕崎市理科部会による昆虫・植物採集会

市内の小・中学校で理科を担当する教諭たちによる枕崎市理科部会が7月26日、今年初めての企画として、小・中学生を対象に、金山小学校周辺で昆虫・植物の採集会を開催しました。

当日は、昆虫採集と植物採集の2つのグループに分かれ、昆虫指導は枕崎小学校の棚瀬教諭、植物指導を教育委員会の竹内指導主事の指導のもと、暑い中でも楽しそうに虫とり網を持ちアゲハチョウを追いかけたり、名も知らない野の花の採集をしました。

採集した昆虫や植物をもとに、標本の作り方も勉強し、また夏休み期間中に名付け会も行われました。



炎天下の中、気合で交通安全を呼びかけ
～剣道スポーツ少年団が交通安全キャンペーン

恒例の交通安全街頭キャンペーンが7月24日、地場センター前道路で行われました。キャンペーンに参加したのは、枕崎・立神・桜山剣道スポーツ少年団やその父母の約50人。

子供たちは、道着姿で汗を流しながらも通行中の車やバイクを止めて、薩摩酒造とJA南さつまから提供されたジュースや子どもたちが作った交通標語のチラシを配り「ドライバーの皆さん、暑さに負けず、安全運転を」と呼びかけていました。



風の芸術展開催へ、師匠が元気を注入
～三遊亭歌之介独演会

「三遊亭歌之介独演会」が7月29日、市民会館で開催されました。この公演は「第8回風の芸術展」の開催に向けたチャリティ公演として行われ、歌之介さんが趣旨に賛同され、無償でご協力いただいたものです。

会場は立ち見ができるほどの満員。歌之介さんの鹿児島弁での軽快な喋りに、終始観客の笑い声が絶えない楽しい公演となりました。

歌之介さん、温かいお心ありがとうございました。



巨大なキャンパスに楽しくお絵かき
～枕崎小学校1年生が堤防脇に壁画を描く

8月7・8日開催のさつま黒潮きばらん海を盛り上げようと、枕崎小学校の1年生とその保護者たちが、枕崎港旧防波堤に海をデザインした絵を描きました。

大壁画は、横25m、縦25mで、今年で12回目になります。子どもたちが描いた下絵を元に、南浜館の関好明館長がデザインしたもので、7月23日から3日間かけて作成し、カラフルで元気あふれる壁画に仕上がりました。

かつお釣り体験
アドベンチャー



第16回かつお釣り体験アドベンチャーが8月2日に行われ、市内4中学校から選考された10名が、5回の事前研修を経て参加しました。

この体験型の事業は、中学生に「かつお漁業」について理解を深めさせるとともに、伝統的漁法である「かつお一本釣り」の体験を通して先人の偉業をしのばせ、心身ともにたくましい生徒を育てようというものです。今年台風の影響で沖には出られなかったため、鹿児島水産高校の実習船「拓青」により、枕崎近海での一日船上釣り体験に臨みました。

海はうねりがあり、船酔いに苦しんだ生徒もいましたが、揺れる船に足を踏ん張りながら船酔いした生徒のために飲み物を運ぶなど、互いに助け合いながら釣りに挑みました。「かつお一本釣り」こそできませんでしたが、サバやイサキなど合わせて200匹ほどの釣果に、生徒たちは満足の表情を浮かべていました。

事後研修では、カツおさばきやカツお料理に挑戦するなど、多くの体験を通じ、生徒たちは一回り大きく、たくましく成長したようでした。